

奥州金ヶ崎行政事務組合議会定例会

”年末年始時期、休日診療所の運営”&”周産期救急医療の強化について”

民報

おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢字久田 62
Tel 24-2021
Fax 24-2049



2月3日、奥州金ヶ崎行政事務組合議会の議員全員協議会、同7日に令和7年第1回定例会が開催されました。

定例会では、管理者の施政方針演説や当初予算などについて審議が行われました。

定例会の一般質問では、佐藤美雪議員が、地域医療を支える休日診療所と周産期救急体制の現状と課題について取り上げました。今回は、佐藤美雪議員の一般質問を紹介します。

電話がパンク状態

佐藤美雪議員は、初めに奥州保健所管内においてインフルエンザが大流行したことをあげ、特に医療機関が休診する年末年始時期の、休日診療所でのインフルエンザや新型コロナウイルス感染症への対応状況について質しました。

倉成淳管理者は、インフルエンザの流行と医療機関が休診中ということもあり、12月31日から1月3日の間、診察希望者が殺到し、電話がつながらない、パンク状態だったと答弁。対応しきれない患者は、診察可能な二次救急機関に紹介し、対応したことを明らかにしました。



奥州金ヶ崎休日診療所・夜間診療所

日本共産党市議団の一般質問は次のとおりです

○質問は2月20日午前10時から

地域医療の現状と今後のあり方について

- 1、地域医療の現状とそれを支える市立医療施設の役割について
- 2、新医療センターについて



佐藤美雪 議員

○質問は2月21日午前11時頃から

- 1、健康づくりの推進について
加齢性難聴への対応について
- 2、地域福祉の推進について
孤独死対策の取組みについて



瀬川貞清 議員

○質問は2月21日午後1時頃から

- 1、女性消防協力会の現状と支援について
- 2、自殺対策の取組みについて



菅原明 議員

○質問は2月25日午前10時から

- 1、中小農家の支援策としての農機具購入制度の創設について
- 2、基幹地域包括支援センターの廃止並びに訪問介護サービスの実態について



今野裕文 議員

○質問は2月25日午後2時頃から

- 1、大規模災害時の備えについて
避難所運営について
情報の収集及び伝達について
- 2、訪問看護の現状と事業者支援について



千葉敦 議員

令和6年度(現在まで) 周産期の救急搬送5件

救急搬送5件

次に佐藤美雪議員は、この地域で分娩ができなくなり、周産期救急の重要性が増している状況の中、任務にあたっている救急隊員に対し感謝するとともに、その実態と課題について質しました。



倉成淳管理者は、今年度現時点で5件の搬送、切迫早産の疑いがある転院が1件で、車内で分娩に至るような事態にはなっていないと述べました。

救命士の周産期救急の研修体制について、昨年度から力を入れ、岩手県立大学看護学部と協力して独自のプログラムを構築し、他の職員に指導できるような救命士を育てるため行っている。車内で出産する事態にも対応できるよう、研修を進めていると答弁しました。

佐藤美雪議員は、「破水が起こると出産が早まり、不安も高まる妊婦さんへの心のケアも必要になる。また、そのような場面で女性救命士の役割も大きい」と述べ、一層の救急体制強化を求めました。

